

JA三重厚生連は、医療・保健・福祉活動を通じて、組合員と地域住民の皆さまが、安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献していきます。

厚生連だより

Letter of JA Mie Koseiren

Vol. 86

2021. 10

松坂城跡より望む御城番屋敷



もくじ

南島メディカルセンターに赴任して	2
ダビンチ導入！	3
ホスピタルコンシェルジュ登場！	4
三重北脊椎センター	5
在宅医療介護連携支援に係る研修会が開催されました	6
介護浴槽が新しくなりました／認定看護師紹介	7
治療食紹介します⑥ 透析食	8

CHECK!



JA三重厚生連の
取り組みを紹介!

特集

南島メディカルセンターに赴任して

～ センター長就任のご挨拶 ～

南島メディカルセンター センター長 酒徳 光明



令和3年4月に式田年晴前センター長の後任として、南島メディカルセンター長を拝命しました。就任にあたってのご挨拶と、南島へ赴任してから約半年の所感を申し上げます。

私は前任地の富山県、市立砺波総合病院では胃癌・食道癌手術、拡大内視鏡検査に特化した消化器外科医として従事して参りました。地域医療、特に地域に根ざした医療・介護ケアについてはまったくの門外漢であり、果たして職務を全うすることができるのか不安を抱きつつも、南島の豊かな自然に感動しながら赴任致しました。

南伊勢町は三重県内でも人口減少と高齢化が著しく進んでいる地域と聞き及んでおりました。実際に外科・胃腸内科を始めますと確かに高齢の患者さんがほとんどで、高齢者特有の疾患に対する診断の大切さ・治療の難しさを肌で感じました。また併設老健「水脈の郷」の管理、学校医としての児童健診、施設管理者として諸行事への参画など初めてのことばかりで、まさに「あっという間に時が過ぎ去った」と感じております。

南島メディカルセンターは南伊勢町が設置し、厚生連が指定管理者として運営する公設民営形式で、主に南島地区の医療と介護ケアを提供しております。町立病院をはじめとする町内の関係機関と医療・介護・福祉の連携を深め、南伊勢町の地域包括ケアの一翼を担えるよう微力ながら努力して参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



南島メディカルセンター全景



ダビンチ導入！

松阪中央総合病院 診療部長(泌尿器科) 雄谷 剛士

図1



令和3年8月にダビンチサージカルシステム(図1)が松阪中央総合病院に導入される運びとなりました。ダビンチとは手術の手助けをするロボットです。腹腔鏡下に体内に挿入した精緻な器具(図2)を術者が操縦して手術することにより、鮮明な画像の下で精密な手術を行え、出血量を抑え、術後の疼痛を軽減し、機能温存の向上や合併症リスクが大幅に回避できます。ダビンチサージカルシステムは平成12年に日本の厚生省にあたるアメリカのFDAの承認を取得した手術支援ロボットであり、今回、当院に導入されたDa Vinci Xは第4世代の最新鋭機で広範な術野範囲をカバーすることが可能となっており、様々な手術へ用いることが出来るものとなっております。

近い仮想環境をリアルタイムに再現することが出来る装置が準備されており、これまでの手術ではできなかった手術のための準備や手技のトレーニングを行うことができるようになりました。これまで職人技に近かった手術から、航空機の操縦におけるフライトシミュレータと同様の環境への変革を起こすものと考えております。

現在、泌尿器科領域では前立腺がんに対する全摘手術、腎癌に対する手術、膀胱がんに対する膀胱全摘手術、腹腔鏡下腎盂形成術、腹腔鏡下仙骨腔固定術などが保険収載されております。まず当院では、ロボット支援手術のメリットが最も大きいとされる前立腺がんに対する前立腺全摘除術への導入を行いたいと考えております。

現在、手術システムの導入後のプロセスに従って、実臨床開始に向けた準備を行っております。そ

の暁には、医師とその手術チームおよび当院のスタッフ全てが、低侵襲治療を通じて患者さんの少しでも早い回復に寄与できることが実現できるものと確信しております。



図2

ホスピタルコンシエルジュ登場！

三重北医療センター 菟野厚生病院 外来師長 堤 淳子

今年6月、病院における接遇のスペシャリストとして、ホスピタルコンシエルジュが登場しました。首元にスカーフを巻いている職員が当院のホスピタルコンシエルジュです。

情報社会の進展により、患者さんが病院を選ぶ時代となり、医療機関は患者さんに選ばれる病院となるべく、医療の質はもちろん患者さんが満足する職員の対応が必要となっています。

そんな現状で求められる人材がホスピタルコンシエルジュです。患者さんのもとより、全ての来院者と接する際に求められるコミュニケーション能力とご質問に答えられる知識をあわせ持つ人材で当院の案内業務を担う職種です。

現在は正面玄関の入退院支援センター前にて、受付担当事務員が来院者の体温測定や各科外来へのご案内等を行っています。接遇スキルの高いホスピタルコンシエルジュが次のような業務を担当します。

【患者案内業務】

患者さんに手続きのご案内や誘導を行います。他の病院で紹介状をもらっただけで、どこに行ったらいいかわからない「いつもは内科だけど今日は外科で診察を受けたい」など患者さんの疑問を解消したり、希望に応えることで、安心してスムーズに診療を受けて頂けるよう手助けを行います。

【院内ラウンド業務】

院内を巡回しながら患者さんへ積極的に声をかけを行い、患者さんそれぞれのニーズに合わせたきめ細やかなサービスを提供します。

正確な業務知識とより良い対応は、患者様の満足度アップにつながります。昨今では新型コロナウイルスの感染拡大により、通常の診察だけでなく、病院を訪れること事態に不安や抵抗を感じている方も多くいらっしゃいます。

ホスピタルコンシエルジュによる患者さんのお気持ちや状態を考慮した接遇力、医療保険制度に関する知識を併せ持つ対応によって、患者さんをはじめ来院者の皆さまの不安を取り除き、安心とご満足を感じる一助になればと考えています。



三重北脊椎センター

当院では令和3年1月に三重北脊椎センターを開設させていただきました。同年8月には新型の整形手術用ナビゲーション等の手術機器を多数導入し本格的に稼働いたしました。

対象とする疾患は背骨（頸椎・胸椎・腰椎）が原因で症状を起こす疾患がすべてとなります。中でも腰痛は有病率30%程度もあり、多くの方が1度は腰痛で悩まれた事があるのではないのでしょうか？

一口に腰痛と言いましても、頻度の多い椎間板性腰痛、椎間関節の痛み、筋膜性腰痛など通常の腰痛であれば、2週間以内位で痛みも自然に治まる事が多いです。しかしながら、圧迫骨折、化膿性脊椎炎、脊椎腫瘍など注意が必要な疾患も腰痛の原因としてあげられます。更に腰痛に伴って、下肢まで痛い場合もあります。その場合は腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアによって、神経が圧迫されてしまっている可能性があります。

ますので、症状が長く続く場合は一度診察を受けていただければと思います。

また、しびれでお困りの方も多いと思いますが、こちらも抹消神経から脊髄まで、神経症状の可能性が異なりますし、更に手足の動きまで悪くなってきた場合は、手術が必要な脊髄症状の可能性もあります。手術が必要な患者さんには状態に応じた最良の方法を選択出来るよう低侵襲な内視鏡手術から、多椎間固定術迄対応しております。また、脊椎圧迫骨折に対しても適応に応じてBKP（経皮的椎体形成術）（※1）という低侵襲な手術が可能です。更に腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法（※2）という注射で椎間板ヘルニアを溶かす治療もありますので、背骨に関する心配事が御座いましたら是非お気軽にご相談ください。

※1 BKP（経皮的椎体形成術）

BKPは、グラグラする背骨を固めて痛みを止める手術です。全身麻酔で、背中に約5mmの切開を潰れた背骨の両側に入れて、そこから潰れた椎体の中に丈夫な風船を入れ、骨の中で風船を膨らませ、潰れを直し、骨の中に空洞（穴）をつくりまします。その後、その穴の中に骨セメントを充填して、骨の内側からグラグラした骨を固めるものです。短時間で終了し、ほとんど出血もありません。

※2 椎間板内酵素注入療法

椎間板内酵素注入療法とは、おしりや太もも、すね、ふくらはぎ、足といった下肢の痛みで困っており、腰椎椎間板ヘルニアと診断された成人の方に対して、椎間板の中にムコ多糖を分解する薬剤を注射する治療です。

三重北医療センターいなべ総合病院

整形外科部長

近藤

章



在宅医療介護連携支援に係る研修会が開催されました

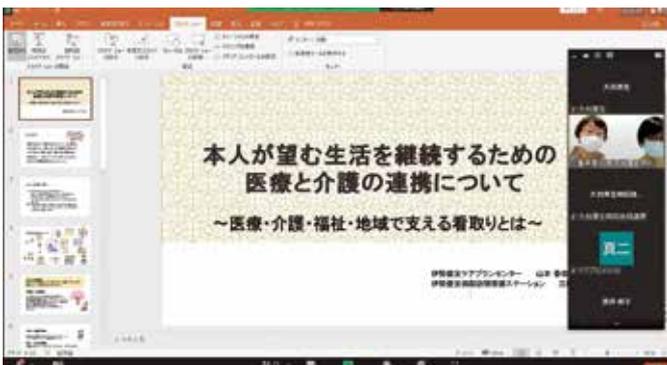
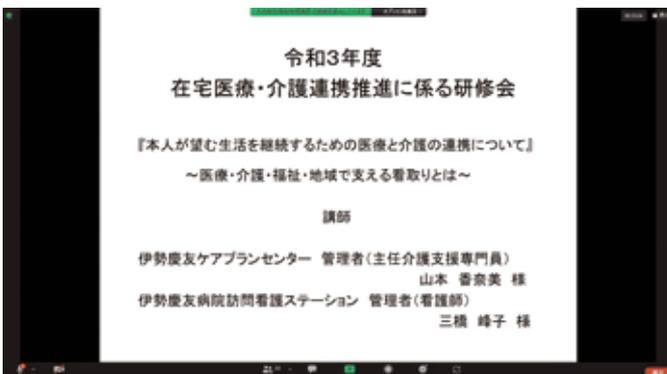
大台厚生病院 総務課長 西川 義幸

大台厚生病院では、大台町と大紀町からの在宅医療・介護関係者に対する相談支援委託事業として、平成30年の4月に「奥伊勢在宅医療介護連携支援相談窓口」を地域連携室内に開設しました。

主な業務内容は、医療機関や介護関係専門職の方から在宅医療と介護の連携に関する相談受付、連携調整、情報提供等となります。当院の社会福祉士1名と看護師1名が担当し、これまでの経験を生かして奥伊勢地域の方々が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、医療と介護の仲介役として支援しております。

相談支援業務の一環として年に2回、両町の関係者を対象とした研修会を実施しております。今年度の研修会は8月26日に、伊勢慶友病院訪問看護ステーションの看護師の方と伊勢慶友ケアプランセンターの介護支援専門員の方を講師に迎え、「本人が望む生活を継続するための医療と介護の連携につ

Web研修会の様子



いて」～医療・介護・福祉・地域で支える看取りとは～をテーマにWeb研修会という形で開催しました。今回は医療・介護・地域を含めて取り組んだ在宅終末期ケアについて、実際の事例交えながらお話いただきました。大紀町、大台町は人口が減少し、高齢化が進んでいる地域であります。

そのなかで在宅で安心して生活ができる環境を整え、地域で看取することを考える大変有意義な研修会となりました。また、多職種の方々とネットワーク越してはありますが、意見交換や共通の認識を持つ事で、さらに医療、介護の連携が容易になるのではないかと思われ

今後も、奥伊勢相談窓口としてこの地域の特性を踏まえながら、医療と介護の連携をテーマに、特色ある研修会を開催していく予定です。ご興味のある方は、大台厚生病院の奥伊勢在宅医療介護連携支援相談窓口まで、ご連絡ください。

介護浴槽が新しくなりました

鈴鹿厚生病院 看護師長 川瀬 勝美

約20年前より使用していた介護浴槽が故障し、しばらく使用できず患者さんやスタッフには大変不便な思いをさせていました。この度念願であつた新しい介護浴槽が令和3年8月3日西1階病棟（認知症治療病棟）の浴室に設置されました。介助スペースは広く浴槽内もゆつたりしており、手厚く安全な入浴介助がおこなえます。ストレッチャーは担架がスライドすることにより浴槽への移動ができ、ジェット噴流も搭載しており、患者さんからは、「気持ちがいい。温泉のようだ」とうれしい言葉を頂いております。スタッフからも負担が減ったと声も聞かれ負担軽減に繋がっており好評です。さらに他病棟にも活用して頂きたいと考えております。今後も患者さんの療養環境の改善に努めてまいります。



認定看護師紹介 ～精神科認定看護師～

鈴鹿厚生病院 精神科認定看護師 看護師主任 齋藤 耕平

鈴鹿厚生病院で精神科認定看護師として活動させて頂いています齋藤耕平です。令和元年に統合された新しい教育課程で学びを積み、精神科認定看護師になりました。資格を取得する過程では多くのことを学び、知識はもちろんですが、たくさんの方との出会いの中で、自身の視野も広がったように思います。現在は、看護専門学校等での講義や院内研修での講師をさせて頂いています。これらの活動を通じて、精神科看護の知識の提供の一端を担うと共に、自身の知識や日々の実践について、振り返り、更新するよう心掛けています。

提供のため、多職種他機関の方とも連携しながら、退院までの支援を行っていきたく思います。長期入院の患者さんも多いですが、お一人お一人に寄り添い、入院中のケアだけでなく、地域生活を見据えた支援を多職種の方と共に実践していきたく思います。

まだまだ未熟ですが、日々の看護実践において、自身が学んだことを少しでも患者さんに還元できるよう努めていきたいと思えます。今後ともよろしくお願致します。

臨床においては精神科療養病棟に勤務し、急性期を過ぎ、引き続き治療及び療養が必要な方、退院に向けたリハビリテーションや社会資源の利用調整が必要な方の看護を担っています。精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築・深化が求められる中、患者さんへの切れ目のない医療、支援の



治療食紹介します⑥

鈴鹿中央総合病院

栄養管理科長 中原 さおり

透析食

★ハヤシライス

透析を行っている患者さんに提供している当院の昼食をご紹介します。

透析食は、塩分、カリウム、リン、水分などを抑えるのが基本となります。さらに患者さん個々に必要なエネルギー量やたんぱく質に調整が必要です。おいしい透析食を調理するためのポイント（塩分含有量の少ない調味料（ケチャップ、ウスターソース、マヨネーズ、酢など）や香辛料（唐辛子、胡椒など）や香味野菜（生姜、にんにく、青しそなど）を効果的に使うことです。このレシピは血圧が高めの方にもおいしく召し上がっていただけると思います。



【材料】（1人分）

- ごはん…170g
- 牛ももスライス…60g
- 玉ねぎ…50g
- 人参…20g
- サラダ油…5g
- マーガリン…5g
- コーンスターチ…3g
- 小麦粉…3g
- 水…60cc
- トマトピューレ…10g
- ケチャップ…5g
- ウスターソース…10g

- ① 牛肉は食べやすい大きさに、玉ねぎはくし形、人参は小さめの乱切りにする。
- ② コーンスターチと小麦粉を合わせてふるっておく。
- ③ フライパンにサラダ油を熱し、牛肉と野菜を炒める。
- ④ 火が通ったらコーンスターチと小麦粉を上にくるい入れる。
- ⑤ マーガリンを加えてさらによく炒める。
- ⑥ 水を少しずつ加える。
- ⑦ その他の調味料も加え、とろみがつくまで煮込む。
- ⑧ ご飯を器に盛り付け、その上にハヤシソースをかける。

★青梗菜のピリ辛炒め

【材料】（1人分）

- 青梗菜…50g
- 人参…5g
- むきエビ…10g
- サラダ油…3g
- 醤油…3g
- 一味唐辛子…少々

- ① 青梗菜は食べやすい大きさに、人参は短冊に切る。
- ② 青梗菜と人参はさつと湯通しする（カリウムを減らすため）。
- ③ フライパンにサラダ油を熱し、むきエビ、人参、青梗菜を入れて炒める。醤油と一味唐辛子で味付けする。

★胡瓜のしそ和え

【材料】（1人分）

- 胡瓜…80g
- 青しそ…0.5g
- 醤油…3g

- ① 胡瓜はスライスして水にさらす（カリウムを減らすため）。
- ② その後しっかりと水気を切る。千切りにした青しそと醤油で和える。

★ハイブチゼリー

（高カロリー補助食品）

栄養量（1人分）

- エネルギー量…670キロカロリー
- たんぱく質…20g
- 塩分…2.1g
- カリウム…800mg
- リン…250mg
- 水分…420g

JA三重厚生連

人に 地域に やさしい看護

薬剤師

看護師

介護福祉士

看護補助員

募集



厚生連だより Vol.86

2021.10 発行

発行／三重県津市栄町1丁目960番地

三重県厚生農業協同組合連合会

TEL 059-229-9191 FAX 059-224-4354

http://www.miekosei.or.jp/ E-mail:info@miekosei.or.jp



自然保護のため、石油系成分の少ない植物油性インキを使用しています。